

『日に新たに』
令和8年度 校長室便り
(5月19日) (第3号)



自分で課題を設定する

私の趣味はジョギングです。土日が中心ですが、走る時は20キロを超えて走ります。息子はサブスリー(フルマラソン3時間切り)で県下周駅伝の選手とも土日よく練習をしています。息子に私の記録を見てもらい、もっとペースを落として心拍が140bpmを超えないスピードで走った方がいいという助言をもらい、17日(日)の夕方桜島の入り口まで往復約16キロをそのペースで走りました。ペースを落とすと周りがよく見えて「田植えの準備がしてある」「生け簀になぜ船が複数停泊してあるのだろう」「錦江湾も思ったよりきれいだ」等、新しい発見がありました。そして目標を達成できたことが何より嬉しく感じました。皆さんも自分で小さな課題や目標を設定してそれを超える努力をしてみてください。新たな発見があるかもしれませんよ。

「第1回防火防災訓練」

5月15日(金)中間考査の後に「第1回防火防災訓練」を行いました。垂水市消防署の隊員の方々にご指導していただく予定でしたが、あいにく緊急出動のために生徒・先生方のみで実施しました。避難の放送が鳴ってから避難完了まで、3分6秒。真剣に取り組んだことがわかりました。ただし、災害は時と場所を選んではくれません。「もし休み時間に起きたら」「階段が煙で充満していたら」「遠征先で火災が起きたら」と訓練の一步先を想像して、備えておくことが大切だと思います。



その後、先生方と2・3年生の代表者が消火器を使った消火訓練を行いました。訓練は100回行って、100回無駄に終わることが一番幸せです。でも、たった1回の本番で後悔しないために、訓練で気づいたことを心の隅に留めておいてください。

「波田野 優さん」の垂水訪問

1学期の始業式で紹介しました東京在住の佼成学園女子高校2年生の波田野優さんとお母さんが、5月14日(木)私に会いに来てくれました。この日はタンザニアで知り合った鹿児島大学の留学生に会う用事があり、鹿児島往復の「日帰り旅行」の途中で垂水に立ち寄るという予定でした。



波田野さんとは、彼女が書いた「すずの声新聞」で能登半島地震で被災した珠洲市を支援していることを南日本新聞で知り、私とその新聞を注文した時から連絡を取らせてもらっています。沖永良部高校にも訪問して生徒と懇談してもらったり、タンザニアの人権法律事務所でのインターンをした時の報告書もいただいたりして、いつも刺激をもらっています。

垂水のおいしい海鮮丼を食べながら、タンザニアでの経験やこれからの目標等を聞きました。「夏にまたタンザニアを訪問したい」と目を輝かせて語ってくれました。「すずの声新聞」を数部いただきましたので、希望する人は校長室まで来てください。

「全校朝礼」

5月11日(月)全校朝礼では、乳がんを克服しスキンヘッドで「ミセス・インターナショナル」世界大会に挑戦する諏佐友佳子さんの紹介をしました。

友佳子さんは、私が大島高校で1年担任をしていた時の生徒で、吹奏楽部に所属しつつも元気で周りを明るくしてくれるような人でした。

長崎大学を卒業後、鹿児島県の小学校と特別支援学校の教員を10年間勤め、2020年に退職し結婚と同時に上京。昨年の7月に乳がんが発覚し、10月には全摘手術と再建手術を受けました(39歳)。

そして、乳がんの啓発のために、4月29日(水)社会貢献をする女性を育てることを目的とした「ミセス・インターナショナル」日本大会に出場して入賞し、シカゴで開催される「世界大会」に出場することが決まっています。



私は、4月24日(金)付南日本新聞に掲載された彼女の記事を読んで衝撃を受け、まず奄美大島に住むお姉さん(旧生徒)に電話をして詳細を聞きしました。その日の夜に本人に連絡しましたが、これまでの経緯を明るく「さっさと」説明してくれました。日本大会に向けた意気込みも聞きましたが、その後の報告で世界大会へ出場するのを知りました。まさに有言実行で、考え方が前向きで行動力のある素晴らしい方です。

全校朝礼では、彼女が生徒に向けて「逆境を希望にかえて」という動画を作ってくれたので、見てもらいました。「今のあなたを応援してくれる人は周りに必ずいます。今の命を大事にして、いっぱい輝かせてください」というメッセージをいただき、朝から勇気と元気をもらいました。

「紙芝居のプレゼント」



5月12日(火)先日の「史蹟めぐり」でお世話になった史談会の古葉様が来校されました。垂水史談会結成100周年の記念として、紙芝居「65年目の証言」を制作されたそうで、本校に2部寄贈していただきました。

紙芝居には、第6垂水丸の転覆事故を風化させないために、東海大学の水島教授が呼びかけて賛同された方の経験談が複数収められています。運良く難を逃れた方や家族を失った方、助けられて生存された方々の生々しい体験が、わかりやすい言葉で綴られています。

図書館にありますので、ぜひ手に取って読んでみてください。今の平和な時代を生きる私たちには、戦時中の歴史を語り継ぐ責任があるのではないかと私は考えています。

先生オススメの本

今年度、垂水高校に赴任された先生方にお薦めの本を紹介してもらいました。



玄関ホールに新任の先生方の「オススメの本」が掲示してあります。ぜひ参考に本を読んでください。「本を通して人を知る。人を通して本を知る」ですね。